

稲城野草散策の会

野草スケッチ カワラサイコ（バラ科）



1996/06/28 稲城市大丸 絵と文 Ta

カワラサイコは河原に生える。

カワラはわかるが、サイコって何だろう・・・最初にカワラサイコの名前を覚えたとき、そう思った。

まさか、サイコキネシス＝念力とは関係あるまい。

西湖、最古でもなさそうだ。

会報第78号 2011年6月26日発行 発行責任者 尼子 房夫

しかるべき図鑑を探せば、謂れが書いてあるのだが、その前にいろいろ想像をめぐらしてみるのも一興である。

想像ではわかるはずもなく、結局「牧野新日本植物図鑑」で調べた。

サイコは柴胡と書くのだそうである。

「柴胡はせり科のミシマサイコ類の漢名であって、薬用とする根茎の類似することから来ている」との記述があった。

カワラサイコの根茎はゴボウのような太い根だ。

それがミシマサイコに似ているのかどうか、私にはわからない。

こういう根を持った植物は、他にもたくさんあるではないか。

どうしてミシマサイコとの類似、しかも根を強調した名前になったのだろう。

花とか葉の類似から似た名前を付けているものは多い。

シュウメイギクはキクとは無関係、アネモネの仲間であるが、花が似ているため、キク扱いされてしまったのがよい例だ。

カワラサイコの場合は、ミシマサイコとは花も葉もぜんぜん似ていない。

花の色は黄色で共通しているが、それだけである。

昔の人が一々根まで調べて名前を付けたとは考えにくい。

「ヤブレガサ」でも触れたが、植物の名前は生活の必要があってつける、というのが原点だった。

とすると、カワラサイコの根を掘ることが、生活の中で行われていたのだろうか。

食用か、薬用にしたか、そういう利用の仕方があったとすれば納得できる。

手元にあった「山菜全科（清水大典著・家の光協会）」「薬草全科（伊沢凡人著・家の光協会）」をめぐってみた。

残念ながら、どちらにもカワラサイコの記載はなかった。

ちょっと気になったのが、「牧野図鑑」に載っていた、カワラサイコの漢名「委陵菜」である。「菜」がつくということは、大陸では食用か薬用にしていた可能性がある。

・・・ここまで考えてみたものの、その後進展もなく、忘れかけていた。

先ほど、思いついてインターネットで検索をかけた。

キーワードは「カワラサイコ 薬用」である。

「日本薬草研究所(JHS)」というサイトの「伊吹山薬用植物目録(280種類)」に記載があった。

「カワラサイコ 根(紅柴胡) 解熱、通経薬」
なるほどなるほど。やっぱり薬草だったのだ。
私の推理は、まんざら外れていたわけではなかった。

ともかく、一件落着である。

だが、どうもひっかかる点があって、牧野図鑑を読み直してみた。「薬用とする根茎の類似することから」のくだりに、なにかの省略がある。

これは、カワラサイコも薬用になることをちゃんと言っているのではないか。

「薬用とする(カワラサイコの根茎と、同じく薬用とするミシマサイコの)根茎の類似・・・」という文章を考えれば、くどいけれど、意味は明確になる。

図鑑の文章は極度に切り詰めて書いているので、そのような省略はありうることだ。

とすると、最初から私の読み方が浅かったことになるわけである。・・・う～む。
(2000年7月記)

* * * * *

〔観察記録〕 5月14日 浅間山・野川公園

5月の爽やかな風に誘われて、浅間山公園前に集まった方は63人、場所柄、自宅から徒歩や自転車で集合地点まで来られた方もいたようです。

浅間山は標高がざっと80メートル、周辺の平地より30メートルほど高い「山」です。多摩丘陵と同時期の地層で、その後多摩川が削り残した丘陵なんだそうです。私がこの時期の浅間山を訪ねるのは随分と久しぶりなのですが、ムサシノキスゲだけでなく、キンランもギンランもかなり増えたように思います。

浅間山を一回りした後はキスゲ橋で切り通しの道を渡って多磨霊園に入ります。墓地に入ると地面も乾いていて、さまざまな帰化植物が目立つようになります。霊園を一巡りした後は、東八道路を渡って野川の右岸に広がる武蔵野公園へ。湿度が低い1日でしたが、5月の日差しはさすがに暑く、公園の樹林にはいと涼しい風が流れてきてホッとします。この樹林の中で昼食タイム。

午後は野川を下り、西武多摩川線の鉄橋をくぐって、野川公園へ入ります。野川沿いに広がるこの公園は国際基督教大学(ICU)のゴルフ場だったところで、東京都がそこを買収して30年ほど前に公園として解放したんだそうです。ICUのキャンパスは戦前は中島飛行機の研究所だったところで、戦後GHQによる

接收を経てICUのキャンパスとなったところです。大学のゴルフ場ってのは、どんな利用のされ方をしていたんでしょう？ それはともかく、私たちは野川の左岸に渡り、国分寺崖線の下に広がる自然観察園を一回りして観察会を終了しました。

▼観察記録（番号純）

(1)ノゲシ(花)、(2)オニタビラコ(花)、(3)ムサシノキスゲ(花)、(4)ハンショウツル(花)、(5)ニガナ(花)、(6)エゴノキ(花)、(7)シラヤマギク、(8)ノビル、(9)マスクサ、(10)オヤブシラミ(花)、(11)トボシガラ、(12)ノイバラ、(13)キンラン(花)、(14)ササバギンラン(花)、(15)コウヤボウキ、(16)タマキクラゲ、(17)ゴンズイ(蕾)、(18)サルトリイバラ、(19)オオバノトンボソウ、(20)ヤマユリ、(21)マルバアオダモ、(22)ガマズミ、(23)カマツカ、(24)ギンラン(花)、(25)クマノミズキ、(26)ホオノキ、(27)コゴメウツギ(花)、(28)コブシ、(29)サジガクビソウ、(30)オケラ、(31)シオデ、(32)ウグイスカグラ(実)、(33)ヒゴクサ、(34)ヨツバムグラ、(35)ネコハギ、(36)ハエドクソウ、(37)ムラサキシキブ、(38)ホウチャクソウ(花)、(39)ヤマウコギ、(40)ノダケ、(41)アオツツラフジ、(42)ハナニガナ(花)、(43)センボンヤリ、(44)アカメガシワ、(45)サワフタギ、(46)イヌツゲ、(47)イヌザクラ、(48)トチノキ(花)、(49)ニセアカシア(花)、(50)カリン、(51)アメリカフウロ(花)、(52)ニワゼキショウ(花)、(53)ツボミオオバコ、(54)キキョウソウ、(55)モミジバフウ、(56)コマツヨイグサ(花)、(57)オオニワゼキショウ(花)、(58)キツネアザミ(花)、(59)ヒメコバンソウ、(60)ヒメヨツバムグラ、(61)ベニバナトチノキ(花)、(62)トチノキ(花)、(63)コバンソウ、(64)マツバウンラン(花)、(65)コメツブツメクサ(花)、(66)ムギクサ、(67)イヌムギ、(68)タチチチコグサ、(69)アヤメ(花)、(70)ブタナ(花)、(71)ハハコグサ、(72)タケニグサ、(73)カキネガラシ(花)、(74)ヤマボウシ(花)、(75)ジシバリ(花)、(76)ムラサキサギゴケ(花)、(77)ムラサキツメクサ(花)、(78)コナスビ(花)、(79)ヘラオオバコ、(80)ニョイスミレ(花)、(81)アカシデ(実)、(82)アオギリ、(83)トネリコ、(84)ヒメウス(花)、(85)ヤブタビラコ(花)、(86)ハクウンボク(花)、(87)ツメクサ(花)、(88)サンシュユ、(89)シンジュ、(90)キショウブ(花)、(91)ケキツネノボタン(花)、(92)ナルコスゲ、(93)ヒメガマ、(94)イヌガラシ(花)、(95)オオカワチシャ(花)、(96)カラスムギ、(97)ウキヤガラ、(98)オヘビイチゴ(花)、(99)ミズキ(花)、(100)ヤマグワ、(101)ニガキ、(102)ヤセウツボ、(103)ヤブカンゾウ、(104)ヤブヘビイチゴ、(105)オニノゲシ(花)、(106)コウゾリナ(花)、(107)マユミ(花)、(108)ニシキギ(花)、(109)ヒヨドリジョウゴ、(110)キバナアキギリ、(111)イヌショウマ、(112)ミズナラ、(113)クサノオウ(花)、(114)セリバヒエンソウ(花)、(115)クサソテツ、(116)コンロンソウ、(117)セリ、

(118)オドリコソウ(花)、(119)チョウジソウ(花)、(120)サギゴケ(花)、(121)ミゾホオズキ(花)、(122)ハンゲショウ、(123)ゲンゲ(花)、(124)イボタノキ、(125)キツリフネ、(126)クジャクシダ、(127)ヒロハコンロンソウ、(128)ヌマトラノオ、(129)リョウブ、(130)オカトラノオ、(131)コウヤワラビ、(132)ゼンマイ、(133)ナワシロイチゴ、(134)フジカンゾウ、(135)エビネ(花)、(136)ムサシアブミ、(137)ウマノアシガタ(花)、(138)イワガネゼンマイ、(139)カメバヒキオコシ、(140)キヌタソウ、(141)ウバユリ、(142)フタリシズカ(花)、(143)ナルコユリ、(144)ヤブレガサ、(145)ヒイラギソウ、(146)タカオカエデ、(147)ウマノアシガタ(花)、(148)コバノタツナミソウ(花)、(149)タマノカンアオイ、(150)キチジョウソウ、(151)ナガバジャノヒゲ、(152)ヒトリシズカ、(153)ロウバイ、(154)ホタルカズラ(花)、(155)ホタルブクロ、(156)オオジシバリ(花)、(157)マンサク、(158)ピナンカズラ、(159)ミツバアケビ、(160)キリ、(161)セキショウ、(162)ズミ

〔行事予定〕 2011/7/24 (日) 林試の森公園

項目	説明
集合	am10時、東急目黒線武蔵小山駅 改札口付近 ※会旗目標 武蔵小山駅の改札口は一個所だけです
交通	JR山手線目黒駅から2駅目 急行も停まります
行く先	林試の森公園内で観察します。JR目黒駅 pm4時頃解散予定
見所 その他	ハナガガシなどの珍しい木のほか、外国産の木が見られます
地図 公園の 園内 マップ	
コース	林試の森公園内を観察します。帰路目黒不動尊に寄り、目黒駅へ ※小雨決行 参加申込み不要、会費当日300

〔行事予定〕 2011/6/26 (日) 神代植物公園

項目	説明
集合	am10時、神代植物公園正門前 ※会旗目標
交通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 京王線調布駅 北口ロータリー・パルコ前 小田急バス 13番乗り場 吉祥寺行、三鷹行 京王バス 14番乗り場 深大寺行 ・ 京王線つつじヶ丘駅 北口 京王バス 深大寺行 ・ 中央線三鷹駅 南口 小田急バス 5番乗り場 調布行 小田急バス 4番乗り場 深大寺行 ・ 中央線、京王井の頭線吉祥寺駅 南口丸井デパート前 小田急バス 4番乗り場 調布行 小田急バス 6番乗り場 深大寺行 <p>* いずれも「神代植物公園前」下車。バスの乗車時間は約20分から25分程です。</p>
行く先 (解散場所)	神代植物公園内観察、調布野草園観察 調布野草園pm4時頃解散予定
見所	樹木、水生植物
地図	

※小雨決行 参加申込み不要、会費当日300円

神代植物公園入園料500円(65歳以上250円)各自負担